

発議案第29号

オスプレイの国内配備と木更津基地の定期整備拠点化を中止することを  
求める意見書について

上記の発議案を別紙のとおり地方自治法第99条及び会議規則第14条第1  
項の規定により提出します。

平成27年12月15日

八千代市議会

議長 嵐 芳 隆 様

提出者	八千代市議会議員	植 田 進	⑩
賛成者	八千代市議会議員	堀 口 明 子	⑩
	同	伊 原 忠	⑩
	同	三 田 登	⑩

## 提案理由

政府に対し、オスプレイの日本国内への新たな配備や訓練、整備拠点の設置を中止することを強く求める。

これが、本案を提出する理由である。

オスプレイの国内配備と木更津基地の定期整備拠点化を中止することを求める意見書

防衛省は10月30日「沖縄に配備されている米海兵隊のMV22オスプレイ24機の定期整備拠点として、米軍は千葉県木更津市の陸上自衛隊木更津駐屯地を選定した」と発表し、県民に衝撃を与えた。すでに政府は陸上自衛隊に新しく配備する17機のオスプレイと、米海兵隊の24機のオスプレイの定期整備拠点を、千葉県の自衛隊木更津基地に設置する方針を決めている。

加えてさきの通常国会では、河野克俊統合幕僚長が昨年末、ワーク米国防副長官と会談した際に、「オスプレイのリージョナルデポについても日本に置いて頂けるとさらなる運用性の向上となる」という重大な発言をしていたことが明らかとなった。この会談記録があることについて、防衛省の黒江哲郎防衛政策局長は、事実上認めた。

リージョナルデポとは、アジア太平洋の全域で運用する軍用機の、集中的な整備拠点を指すものである。そうなれば、自衛隊機と米軍機のみならず、韓国やオーストラリアなどの外国軍機も飛来してきて、定期整備や試運転をすることになる。国会で追及された中谷元防衛大臣は、日本のリージョナルデポにおける整備の対象について、完全否定していない。

自衛隊木更津基地がオスプレイの整備拠点となれば、住宅や商店、学校、企業などが密集する木更津市周辺、さらに千葉県上空をオスプレイが飛び交い、住民を墜落事故の恐怖と耐えがたい騒音被害にさらすことになる。さらにリージョナルデポとなれば、その危険性ははかりしれない。

特に、本市域にまたがる習志野自衛隊基地で行われているパラシュート降下訓練は、木更津基地の輸送機が使用され、本市の住宅地上空を飛行している。木更津基地のオスプレイ整備拠点化により、オスプレイが習志野基地に飛来することも心配される。

よって本議会は政府に対し、オスプレイの日本国内への新たな配備や訓練、整備拠点の設置を中止することを強く求めるものである。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成27年12月22日

八千代市議会

提出先

内閣総理大臣様  
防衛大臣様